

ハイマチュリティ(高成熟度)ワークショップ

CMMI[®]レベル3は達成されましたか？次はどうしたらよいでしょう？本コースでは、下記のことを学習します。

- CMMI[®]に関して、組織の現時点での達成レベルを正しく評価する。
- ビジネス上の理由から高い成熟度レベルへ進む必要性に合意する。
- CMMI[®]レベル4、レベル5を達成するとはどういうことかを理解する。
- 定量的なプロセス制御を導入するときに使用できる技法を学ぶ。
- ビジネスゴールを達成するために必要な尺度を関係付けるノウハウを学ぶ。

■ コースの目的

このコースでは、次のことを学びます。

- 成熟度における実績を評価する
- 成熟度レベル4、5とは何かをよく理解する
- 自らの作業領域に対する定量的技法の適用を理解する
- 高成熟度においては、何をどのように測定するのかを考える

■ コースの成果

コース修了後、下記の効果が得られます。

- 高成熟度の概念と効果を会得できる
- 秩序ある測定と分析のアプローチとその必要性を理解できる
- 定量的な面での主要なビジネスゴールや、ゴールを定義する場合に考慮することを理解できる
- ビジネスゴールの定量的な達成を実証するために必要な尺度を理解できる
- 使用できる様々な定量的技法を理解できる
- 定量的技法を適用する際に陥る可能性のある過ちを認識できる

■ コースの形式

本コースは、プレゼンテーション、ディスカッション、演習で構成された、受講者参加型のコースです。高成熟度達成に向けて着手する方法を学ぶ集中講座として、また、事例をもとに測定と分析を行う方法を学ぶ実用的な講座として受講いただけます。

1日目は理解と認識に焦点をあて、2日目から3日目にかけて1日目で習得した概念を実践的に使用します。演習は、一般的な課題、あるいはお客様に特化した課題をもとに行いますが、これは、手法を適用するお客様の実績データが使用可能か否かにより決まります。

プレゼンテーション資料が配布資料になります。

■ 対象者

- ビジネス目標を設定し、それに照らしてデータを測定したいとお考えの管理者
- 定量的なプロジェクト管理データの組織的な分析を担当される方
- 組織の目標とプロジェクトの測定との関係を理解する必要のあるプロジェクト管理者
- CMMI[®]高成熟度レベルの概念を理解する必要のある方
- CMMI[®]を使用する、高成熟度レベルのアセスメントに関わる方

■ コースの内容

■ 背景

- 出発点
- 改善の道筋
- 高成熟度レベルの概念

■ 状況と手法

- なぜ測定を行うのか？
- 状況の把握－組織特有のゴール
- 収集した現状データのレビュー
- グラフ手法の概要

■ 実践－データの分析

- データの種類、目的、利用者のレビュー
- プロセス実績のベースラインとモデルの確立
- 使用する技法の決定
- データの欠落に関するレビュー
- 実際のデータでの作業例(提出頂いた場合)

■ 準備いただくこと

現状データ(目標、傾向、尺度と値)を電子形式でご提出頂けると、組織の事例をもとに具体的なディスカッションを促進します。

®能力成熟度モデルCMM、CMMIIは、カーネギーメロン大学によって、米国特許商標庁に登録されています